

ふれあい情報

■発行 日本高齢・退職者団体連合（退職者連合）
 ■発行人 羽山 治美 ■編集人 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 TEL:03-5295-0507 FAX 03-5295-0541
 e-mail taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年9月25日(水) 第148号

阿部会長

社会保障制度を守るため

雇用問題の解決重要と訴え



退職者連合主催、連合共催による「2013 全国高齢者集会」は、9月15日午後1時から東京・千代田区の日比谷公会堂で開かれ、大型台風18号の東京接近が予報される中、嵐にもめげず全国から約2,000人が参加しました。

集会は2部構成で行われ、第1部では、はじめに退職者連合の阿部保吉会長が主催者あいさつ。労働法制の相次ぐ改悪で雇用がズタズタにされている現状に警鐘を鳴らし、社会保障制度を守るためにも現役労働者の雇用問題解決が重要と訴えました（後掲）。

続いて連合の古賀申明会長が共催団体あいさつ、中川正春民主党幹事長代行（衆議院議員）と福島瑞穂社民党前党首（参議院議員）がそれぞれ来賓あいさつしました。また退職者連合が日々の活動で連携している中央労福協・大塚敏夫事務局

△集会で主催者あいさつする阿部会長(写真中央。9月15日、東京・日比谷公会堂)

長、労金協会の田中秀和副理事長、全労済の阿部田克美常務執行役員の3人にご登壇いただき、協賛団体代表として紹介しました。

羽山治美事務局長の基調報告を受けた後、東日本大震災の被災地を代表して福島県高退連、地域で社会貢献活動に取り組む石川県退連と茨城高退連合の代表からそれぞれ報告を受けました。

第2部では、長年NHKラジオ・テレビ体操で指



○豆辞典<敬老の日>

1966年、「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長老を祝う」ことを目的に日本独自の国民の祝日になりました。

導者をつとめられた青山敏彦先生のリードによる「みんなの体操」で参加者全員はいい汗をかきました。今年は、阿部会長をはじめ役員も壇上に上

がり、一緒になって体を動かしました。なお集会後のデモ行進は台風のため中止しました。

元気な高齢者が地域で貢献することが大切

～地域に顔の見える運動づくりを～

年金・医療・介護をはじめとする社会保障制度がいま、大きく揺らいでいます。その最大の要因は、労働法制の緩和・改悪による雇用秩序の崩壊と賃金低下による保険料収入の低迷にあります(集会宣言)。阿部会長は、あいさつの中でこの点を踏まえて「現役労働者の雇用問題の解決なくして、社会保障の持続性はない。連合とともに雇用の改善に向け闘っていききたい」と現・退一致で取り組む姿勢を明らかにしました。

“花が咲く” その日まで支援を

また、2年6ヶ月が経過した3.11大震災・福島原発事故にも触れ「深刻な高濃度汚染水漏れと広大な森林汚染の除染問題がある」と指摘。厳しく政府と東京電力の責任を追及しました。一方、被災者支援について「退職者連合は被災された皆さんの一人ひとりの心に“花は咲く”その日まで支援していききたい」と述べました。

負担増と給付削減は許さない

さらに8月6日に出た社会保障制度改革国民会議報告について「部分的に評価できるところがある」としつつも、高齢者への負担増と年金給付の削減が打ち出されると批判。あわせて「後期高齢者医療制度の温存は許されない」と、あらためて後期高齢者医療制度の廃止を強く求めました。

続いてマクロ経済スライドの見直しについても批判。「年金の減額は了解できない」と強調しました。

安倍政権の暴走を ストップさせよう

先の衆・参議院選挙結果に触れて、「民主党は勤労者の立場に立ってしっかり再建を果たすべき」と激励し、「民主党は、解釈改憲で集団的自衛権を行使できるようにしようとしている安倍政権の暴走を喰いとめてほしい」と注文をつけて、憲法改悪阻止を訴えました。

会長はまた、集会参加者に長野県の取り組み事例を紹介しながら、「元気でいることも闘いのひとつ。自覚して予防医療を進めること。元気な高齢者が地域で貢献することが大切だ」と呼び掛けました。

最後に「地域に顔の見える運動を進めていききたい。平和なくして社会保障はない。そのためにも退職者連合の300万会員、当面100万人会員実現に向けた組織拡大が重要だ。連合とともに取り組んでいききたい」と締めくくりました。



阿部会長



△ご登壇いただいた連合、民主党、社民党及び協賛団体である中央労福協、労金協会、全労済のみなさん。(15日、会場)

＜地域からの報告＞

- 被災地 大倉冬樹 福島県高退連・事務局長
- 社会貢献 船塚俊克 石川県退連・事務局次長
仲田勝一 茨城高退連連合・事務局長

子供たちが心配だ！

原発事故で一番被害にあっているのが子供たち。体力が落ちてきている。放射能汚染のため外に出られないからだ。また、子供たちの健康問題もある。甲状腺ガンの疑いのある子供がでており、4～5年経つと多くの被害がでるのではないかと心配だ。



福島・大倉冬樹さん

里山を守る活動

2008年10月から県の依頼で「竹林間伐ボランティア」として始まった。またくぬぎ植林活動にも取り組んでいる。2011年11月には「いしかわ版里山づくり ISO」認証団体として県知事より認証書を交付された。県内の自治体に「元気な高齢者を使ってください」と声をかけている。



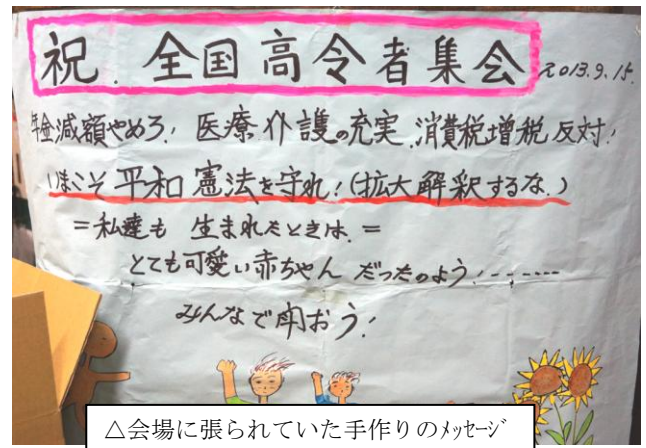
石川・船塚俊克さん

車いすの清掃・整備の活動

私たちの団体は「水戸五八・五八(みとごや・ごやかい)」といい、来年で結成30周年になる。地域の社会福祉施設の車いすの清掃・整備をはじめ、各行事などの手伝いをやっている。会員は28人。会のモットーは「無理をしない」。



茨城・仲田勝一さん



△会場に張られていた手作りのメッセージ



(写真上)会場1階・2階を埋めた参加者も、イスに座ったまま、両手をあげて思いっきり背伸び。(写真中)ステージでは、阿部会長や川島副会長、臼井副会長など役員や企画委員も参加して一緒に体操。(写真下)左から体操を指導した青山先生、応援出演は、NHKテレビ体操でおなじみの松下さんと清水さん、多胡さん。

(写真左)TBSテレビも取材にかけつけ、参加者にインタビュー。



2013年度 第1回組織代表者会議開く

介護保険制度改革

全国での運動展開を確認

退職者連合は9月16日午前、都内のホテルで2013年度第1回組織代表者会議を開き、当面する重要課題、運動の取り組みなどについて意思統一しました。会議には、退職者連合の役員をはじめ、中央・地方退職者組織代表など約110人が参加しました。

連合第13回定期大会の政策、運動方針の説明を受ける

冒頭、阿部会長は、地域で高齢者集会を開催する場合の本部への事前連絡や終了後の報告(写真や記事の本部への送付)を要請。また国政選挙において「地方退職者組織は地方連合会の選対本部に積極的に参加すべき」との考えを示しました。

阿部会長の進行で始まった代



△代表者会議であいさつする阿部会長。(16日)

表者会議は、まず新たに退職者連合に加盟した基幹労連シニアクラブを紹介。初代会長の宮園哲郎さんがあいさつしました。

今回は、10月に連合第13回定期大会があることから、大会

に提出される連合「2014年度～2015年度政策と制度 要求と提言」について花井圭子総合政策局長から、また「運動・方針その1」について篠原淳子組織拡大・組織対策局長からそれぞれ説明がありました。



宮園哲郎会長

◇ 介護保険制度見直し

充実した制度の確立に向け、全国での運動づくりを提起

来年2014年の通常国会で介護保険制度の見直し(概ね5年ごと)が行われます。可決・決定されれば、その多くは2015年から施行されることとなります。同時に通常国会では、社会保障制度全体についての具体的な内容にも議論が及ぶことから、退職者連合にとって見過ごしにできない重要な国会となります。

そのため退職者連合は、9月9日に「年金、医療・福祉専門委員会合同会議」を開催し、対政府交渉、自治体交渉などを通じて、より充実した介護保険制度の確立に向けた見直しが行われるよう、全国的な運動を展開することにしました。

代表者会議では菅井義夫事務局次長が運動展開の方向や中央や地方が取り組む



具体的な運動の進め方について提案、また代表者会議後、詳しい内容を全組織に周知徹底することも確認されました。

さらに菅井事務局次長は、8月6日に出された「社会保障制度改革国民会議報告書のポイント～その評価と問題点～」について報告・説明しました。

◇ 組織拡大の取り組み

「現・退対話行動」の継続を

現在、中央・地方で取り組まれている組織拡大に向けた「現・退対話行動」について林道寛事務局次長が中間まとめの報告を行い、今後の対応として引き続き対話行動を継続し、来年2月の第2回組織代表者会議にそのまとめを報告することとしました。また、退職者連合本部で取り組んだ連合主要構成組織に対するオルグ報告も行われました。



花井圭子氏



篠原淳子氏